審査項目	細 別	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制一般	☐ 「評価対象項目」 ☐ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。 ☐ 施工計画書を、工事着手前に提出している。 ☐ 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 ☐ 元請が下請の作業成果を検査している。 ☐ 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 ☐ 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 ☐ 工場制作期間における技術者を適切に配置している。 ☐ 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。 ☐ その他 理由:			☐ 施行体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		評価数 評価値 判定				
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	☐ 「評価対象項目」 ☐ 【全体を評価する事項】 ☐ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。 ☐ 作業主任者を選任し、配置している。 ☐ 専門技術者を専任し、配置している。 ☐ 【現場代理人を評価する項目】 ☐ 現場代理人が、工事全体を把握している。 ☐ 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。 ☐ 監督職員への報告を適時及び的確に行っている。 ☐ 【監理(主任)技術者を評価する項目】 ☐ 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 ☐ 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 ☐ 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 ☐ 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 ☐ 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。 ☐ 港湾工事等潜水作業従事者を適正に配置している。 ☐ 港湾工事等海上起重作業船団長を適正に配置している。 ☐ その他 理由:			☐ 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		評価数 評価値 判定				

様式第3号(第5条関係)

監督職員用②

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理	「評価対象項目」 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。 ☐ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したもとなっている。 ☐ 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 ☐ 工事材料の品質に影響がないよう保管している。 ☐ 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 ☐ 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 ☐ 現場内での整理整頓を日常的に行っている。 ☐ 使用材料の品質証明書等及び写真等を整理している。 ☐ 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 ☐ 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 ☐ 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の機械及び車両を使用している。 ☐ その他 理由: <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>			☐ 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	II. 工程管理	「評価対象項目」 ☐ 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 ☐ 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 ☐ 実工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 ☐ 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 ☐ 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れがない。 ☐ 工事の進捗を早めるための取組を行っている。 ☐ 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 ☐ 休日の確保を行っている。 ☐ 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 ☐ その他 理由: <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>			☐ 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。 ☐ 災害防止(工事安全)協議会等を1回/月以上行っている。 ☐ 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。 ☐ 新規入場者教育の内容に、当該工事現場特性を反映している。 ☐ 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 ☐ 過積載防止に取り組んでいる。 ☐ 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。 ☐ 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づいて実施している。 ☐ 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 その他 理由: <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>			☐ 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	細 別	a	b	c	d	e
	Ⅳ.対外関係	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
		「評価対象項目」 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。 ☐ 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い。 ☐ 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。 ☐ 第三者からの苦情が無い。若しくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 ☐ 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 ☐ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 その他 理由: <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>			☐ 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。

考査項目		a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	下欄以外の工事に適用する。 ☐	☐ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのバラツキが規格値 概ね50%以内である。	☐ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値内である。	☐ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
	判定						
		a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e	
機械設備工事 ☐	☐ 「評価対象項目」 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が供用範囲内である。 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足している。 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 不可視部分の出来形を写真撮影している。 塗装管理基準の塗膜厚管理を適切にまとめている。 溶接管理基準の出来形管理を適切にまとめている。 社内の管理基準に基づき管理している。 設計図書に定められている予備品に不足が無い。 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の劣化状況及び回復状況を図表等に記録している。 ☐ その他 理由:	評価数 評価値 判定			☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
		評価値					
			a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e
電気設備・通信設備・受変電設備工事 ☐	☐ 「評価対象項目」 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫している。 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記載され、適切に管理している。 不可視部分の出来形を写真撮影している。 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理している。 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲である。 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承諾図書通りに施工している。 配管及び配線が、設計図書又は承諾図書通りに敷設している。 測定機器のキャリブレーションを、定期的の実施している。 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 社内の管理基準に基づき適切に管理している。 ☐ その他 理由:	評価数 評価値 判定			☐ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。	
		評価値					
			a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d	e

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	下欄工事以外の工事に適用する。 ☐	「評価対象項目」 品質管理が必要な測定項目について行われている。 品質管理測定値が規格値を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。 品質管理確保のための対策など施工に関する工夫を書面又は写真で確認できる。 品質管理測定方法についての工夫を書面又は写真で確認できる。 品質管理測定値が確認しやすく整理されている。 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。 品質管理項目について、監督員と協議し設定していることが書面で確認できる。 品質管理基準によりがたい場合、監督員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。 材料の品質・形状が証明書等で確認できる。 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 施工条件、気象条件を考慮して施行している。 施工箇所以外の部分に損傷を与えないように工夫している。 施工箇所や施行場所について地域や環境への配慮を行った。 その他 理由： その他 理由： その他 理由：	<p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>		☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	☐ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。

審査項目	細別	a	b	c	d	e
	機械設備工事 ☐	「評価対象項目」 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）の内容が設計図書の様を満足している。 設備の機能及び性能を、承諾図のとおり確保している。 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられている。 溶接管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 塗装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯を承諾図のとおり配置し、操作性にすぐれている。 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図のとおり機能している。 小配管、電気配線・配管が、承諾図のとおり敷設している。 設備の取扱説明書を工夫している。 完成図書（取扱説明書）に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 二次コンクリートの配合試験及び試験練りが実施され、試験成績表にまとめられている。 パルプ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしている。 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 その他 理由：			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 ☐ 監督職員が文書で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、 ☐ 監督職員が改造請求を行った。
		評価数 評価値 判定				

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	電気設備・通信設備・受変電設備工事 ☐	<p>「評価対象項目」</p> <p>製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施している。</p> <p>材料、部品の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足している。</p> <p>機器の品質、機能及び性能が、設計図書を満足し、成績書にまとめている。</p> <p>操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れている。</p> <p>ケーブル及び配管の接続などの作業が施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無い。</p> <p>設備の機能及び性能が設計図書の仕様を満足している。</p> <p>操作制御関係の機能及び性能が、仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。</p> <p>設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足している。</p> <p>現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。</p> <p>設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）している。</p> <p>完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示している。</p> <p>設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫している。</p> <p>その他 理由： 其他 理由： 其他 理由：</p> <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>			<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、 ☐ 監督職員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>契約書第17条に基づき、 ☐ 監督職員が改造請求を行った。</p>

	☐ ■品質 ☐ 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 ☐ コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 ☐ 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 ☐ 配筋、溶接作業等に関する工夫。 ☐ ■安全衛生 ☐ 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ※本項目は2点の加点とする。 ☐ 安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) ☐ 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 ☐ 現場事務所、労務者宿舎等の居住空間及び設備等に関する工夫。 ☐ 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の喚起等に関する工夫。 ☐ 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。 ☐ 航行船舶への安全周知又は事故防止等に対する工夫。 ☐ 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 ☐ 環境保全に関する工夫。	
記述評価 (1を入力した評価内容を詳細記述)	評点：	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載 <hr/> <hr/> <hr/>

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 評価は各項目において1が入力されれば評価し、1、2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。

※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、立会人が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

工事成績採点の考査項目基準表

監督職員用 ① 営繕

考査項目	細 別	対象	a	b	c	d	e		
			施工体制が優れている	施工体制が良好である	施工体制が適切である	施工体制がやや不適切である	施工体制が不適切である		
1. 施工体制	I. 施工体制一般		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 作業の分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。 ☐ 品質管理体制が、書面に適切に記載されている。 ☐ 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 ☐ 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。 ☐ 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 ☐ 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <p>☐ ☐ 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。</p> <p>☐ ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</p> <p>☐ ☐ その他 理由:</p>			<p>☐ 施行体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>		<p>☐ 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
			<p>該当項目が90%以上.....a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満...b</p> <p>該当項目が60%以上80%未満...c</p> <p>該当項目が60%未満.....d</p>	<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>					

考査項目	細 別	対象	a	b	c	d	e
			配置技術者として優れている	配置技術者として良好である	配置技術者として適切である	配置技術者としてやや不適切である	配置技術者として不適切である
1. 施工体制	Ⅱ.配置技術者 (現場代理人等)		<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 現場代理人として、工事全体の把握ができています。</p> <p>☐ 協議・報告等を全て書面で行っている。</p> <p>☐ 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。</p> <p>☐ 工事請負契約書第18条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第18条」という。)に基づく設計図書の照査を行っている。</p> <p>☐ 書類及び資料が適切に整理されている。</p> <p>☐ 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。</p> <p>☐ 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。</p> <p>☐ 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。</p> <p>☐ 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。</p> <p>☐ 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。</p> <p>☐ 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。</p> <p>☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</p> <p>☐ その他 理由:</p>			<p>☐ 配置技術者に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p>☐ 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
			<p>該当項目が90%以上.....a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満...b</p> <p>該当項目が60%以上80%未満...c</p> <p>該当項目が60%未満.....d</p>	<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>			

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	e
			施工管理が優れている	施工管理が良好である	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理 (解体以外)	☐	<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 ☐ 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 ☐ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 ☐ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 ☐ 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。 ☐ 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている ☐ 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 ☐ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 ☐ 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 ☐ 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 ☐ 使用する建築材料(以下「材料」という。）・設備機材(以下「機材」という。)の調達計画及び搬入後の管理が適切である。 ☐ 社内検査が計画的に行われている。 ☐ 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている ☐ 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 ☐ 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ☐ その他 理由: 			☐ 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d	評価数 評価値 判定			

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	e
			施工管理が優れている	施工管理が良好である	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である
2. 施工状況	I. 施工管理 (解体工事)	<p>「評価対象項目」</p> ☐ 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 ☐ 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 ☐ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 ☐ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 ☐ 施工計画書に基づき、日常の出来形・品質の管理を適切に行っている。 ☐ 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている ☐ 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 ☐ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 ☐ 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 ☐ 現場内での整理整頓が、日常的に行われている。 FALSE ☐ 使用する建築材料(以下「材料」という。）・設備機材(以下「機材」という。)の調達の計画及び搬入後の管理が適切である。 ☐ 社内検査が計画的に行われている。 FALSE ☐ 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている ☐ 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 ☐ 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ☐ その他 理由:				☐ 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
			該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d	評価数 評価値 判定			

2. 施工状況	II. 工程管理	対象	a	b	c	d	e		
			工程管理が優れている	工程管理が良好である	工程管理が適切である	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である		
			「評価対象項目」 ☐ 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 ☐ 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 ☐ 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により、関連工事及び入居公所等に対し影響を及ぼす工程の遅れがない。 ☐ 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 ☐ 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 ☐ 受注者の責による夜間や休日の作業がない。 ☐ 休日・代休の確保を行っている。 ☐ 近隣住民(入居公所等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ☐ その他 理由:			☐ 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		☐ 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。	
			該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d	評価数 評価値 判定					

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	e
			安全対策が優れている	安全対策が良好である	安全対策が適切である	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である
2. 施工状況	Ⅲ.安全対策	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。</p> <p>☐ 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。</p> <p>☐ 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。</p> <p>☐ 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。</p> <p>☐ 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。</p> <p>☐ 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が反映され、記録が整備されている。</p> <p>☐ 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。</p> <p>☐ 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。</p> <p>☐ 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>☐ 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。</p> <p>☐ 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。</p> <p>☐ 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。</p> <p>☐ 過積載防止に十分に取り組んでいる。</p> <p>☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。</p> <p>☐ その他 理由:</p>	<p>☐ 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。</p>	<p>☐ 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p>☐ 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>		
			<p>該当項目が90%以上.....a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満...b</p> <p>該当項目が60%以上80%未満...c</p> <p>該当項目が60%未満.....d</p>	<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>			

2. 施工状況	IV. 対外関係	対象	a	b	c	d	e
			対外関係が優れている	対外関係が良好である	対外関係が適切である	対外関係がやや不適切である	対外関係が不適切である
		☐ 「評価対象項目」 ☐ 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。 ☐ 工事施工にあたり、近隣住民(入居公所等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。 ☐ 引渡し時に入居公所等に対し、保守管理について適切な説明を行うための資料が整備されている。 ☐ 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 ☐ 近隣住民(入居公所等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 ☐ 現場のイメージアップに、取り組んでいる。 ☐ 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 ☐ その他 理由:				☐ 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	☐ 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
		該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d		評価数 評価値 判定			

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	e
			出来形が優れている	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	☐ 「評価対象項目」 ☐ 承諾図等が、設計図書を満足している。 ☐ 施工図等が、設計図書を満足している。 ☐ 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 ☐ 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 ☐ 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 ☐ 出来形の管理方法を工夫している。 ☐ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。 ☐ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ その他 理由：				☐ 出来形の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	☐ 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。
			該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…b 該当項目が60%以上80%未満…c 該当項目が60%未満……………d	評価数 評価値 判定			

考査項目	細 別	対象	a	b	c	d	e
			品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 (建築工事)		<p>「評価対象項目」</p> ☐ 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 ☐ 品質確認記録の内容が、適切である。 ☐ 施工の各段階における完了時の品質が適切である。 ☐ 内外仕上げ工事における施工の品質が良好である。 ☐ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 ☐ 杭材料の規格または性能を満足する資料が整備されている。 ☐ 鉄筋の規格または性能を証明する資料が整備されている。 ☐ 鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整備されている。 ☐ コンクリートの調合、強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整備されている。 ☐ 鉄骨の規格または性能を証明する資料が整備されている。 ☐ 鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整備されている。 ☐ 木材が規格を満足し、それを証明する資料が整備されている。 ☐ 建具、ユニット等の性能及び機能が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整備されている。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が適切である。 ☐ その他 理由:			☐ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 ☐ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。	
			該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d	評価数 評価値 判定			

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	e		
			優れている	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	☐	「評価対象項目」 ☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 ☐ 品質確認記録の内容が適切である。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が適切である。 ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 ☐ 機材及び施工の品質が良好である。 ☐ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。			☐	品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。	☐	工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
	(設備工事)		☐ その他 理由:						
			該当項目が90%以上.....a 該当項目が80%以上90%未満...b 該当項目が60%以上80%未満...c 該当項目が60%未満.....d	評価数 評価値 判定					

3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 (解体工事)	対象	a	b	c	d	e		
			品質が優れている	品質が良好である	品質が適切である	品質がやや不適切である	品質が不適切である		
			<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 分別解体、建設廃棄物の処理・再資源化などに関して、工事着手前の調査・検討が十分に実施されている。</p> <p>☐ 解体工事等が設計図書、施工計画書のとおり実施され、その管理内容が適切である。</p> <p>☐ 分別解体、建設廃棄物の処理・再資源化などが適正に行われ、それを証明する資料が整備されている。</p> <p>☐ 有害物(PCB、アスベスト、フロンなど)の飛散・流出等を防止し、適正な処理がなされている。</p> <p>☐ その他 理由:</p>			<p>☐ 品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。</p>		<p>☐ 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。</p>	
			<p>該当項目が90%以上.....a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満...b</p> <p>該当項目が60%以上80%未満...c</p> <p>該当項目が60%未満.....d</p>			<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>			

考 査 項 目	細 別	工 夫 事 項
5. 創意工夫	<p>■準備・後片付 関係</p>	<p>☐ 測量・位置出しにおける工夫</p> <p>☐ 現地調査方法の工夫</p> <p>☐ その理由:</p> <hr/> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>■施工関係</p>	<p>☐ 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫</p> <p>☐ 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取り組み</p> <p>☐ 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫</p> <p>☐ 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法の工夫</p> <p>☐ 電気設備工事等の配線、配管等の工夫</p> <p>☐ 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫</p> <p>☐ 照明・視界確保等の工夫</p> <p>☐ 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫</p> <p>☐ 運搬車両・施工機械等の工夫</p> <p>☐ 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫</p> <p>☐ 施工管理及び品質向上等の工夫</p> <p>☐ プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫</p> <p>☐ 仮設施工等の工夫</p> <p>☐ 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫</p> <p>☐ 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫</p> <p>☐ 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫</p> <p>☐ その理由:</p> <hr/> <p>詳細評価内容:</p>

考 査 項 目	細 別	工 夫 事 項
5. 創意工夫	<p>■品質関係</p>	<p>☐ 集計ソフト等の活用と工夫</p> <p>☐ 躯体工事の品質管理の工夫</p> <p>☐ 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫</p> <p>☐ 施工の検査・試験に関する工夫</p> <p>☐ 品質記録方法の工夫</p> <p>☐ その理由:</p> <p>詳細評価内容:</p>
	<p>■安全衛生関係</p>	<p>☐ 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)</p> <p>☐ 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫</p> <p>☐ 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫</p> <p>☐ 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫</p> <p>☐ 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫</p> <p>☐ 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫</p> <p>☐ 作業時における作業環境改善等の工夫</p> <p>☐ ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫</p> <p>☐ その理由:</p> <p>詳細評価内容:</p>

考査項目	細 別	工 夫 事 項
5. 創意工夫	■施工管理関係	☐ 出来形の管理等に関する工夫 ☐ 施工計画書または写真記録等に関する工夫 ☐ 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 ☐ CAD、施工管理ソフト等の活用 ☐ 施工合理化技術を(※5)を活用した施工管理の工夫 ☐ その他理由: 詳細評価内容:
	■その他	<p><新技術活用>※新技術に関する下記5項目での加点は最大3点とする。</p> <p>以下の項目評価に当たっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表、新技術活用計画書・実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加点対象は受注者から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。</p> ☐ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(3点) ☐ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(2点) ☐ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同等である。(2点) ☐ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。(2点) ☐ (該当技術数:)NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。(1点) <p>※ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事における新技術活用システム」実施要項で定める「活用促進技術」、「推奨促進技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等</p> <p>※複数の技術の評価に当たっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合あは、該当技術に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価点とするが、この場合も最大3点の加点とする</p> <p><その他></p> ☐ その他 理由: 詳細評価内容: (最大 7点) 評 点 計 = 点

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。

※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。なお、立会人が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価欄に記載する。

※5. 施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工(ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。

※6. 考査項目「創意工夫」の「■準備片付け関係」から「■安全衛生関係」までの4つの細別ごとに、施工合理化技術を活用して効果があった場合に、その他の理由に具体的内容を記載して加点する。さらに、当該技術がNETIS登録技術である場合は「■その他」<新技術活用>の項目に追加で加点できるものとする。

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
2. 施工状況	II. 工程管理	「評価対象項目」 ☐ 隣接する他の工事などの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 ☐ 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 ☐ 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 ☐ 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 ☐ 災害復旧工事など特に工期的な規約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 ☐ 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 その他 理由:			☐ 理由:	☐ 理由:
	評価数 評価値 判定					
	III. 安全対策	a	b	c	d	e
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		「評価対象項目」 ☐ 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 ☐ 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 ☐ 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 ☐ 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 ☐ 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 ☐ 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 その他 理由:			☐ 理由:	☐ 理由:
		評価数 評価値 判定				

調査項目	細 別	対 応 事 項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 2. 対象構造物の形状が複雑であることから、施工条件が特に変化する工事 3. その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上該当があれば4点の加点とする (1つ以上で4点加点、たとえ3つが該当しても4点加点は変わらない)	(1. について) ・切土の土工量:20万㎡以上、盛土の土工量:15万㎡以上、護岸・築堤の平均高さ:10m以上、トンネル(シールド)の直径:8m以上、ダム用水門の設計水深:25m以上、 ・樋門又は樋管の内空断面積:15㎡以上、揚排水機場の吐出管径:2,000mm以上、堰又は水門の最大径間:25m以上、堰又は水門の径間数:3径間以上、 ・堰又は水門の扉体面積:50㎡/門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:100㎡以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積300㎡以上、 ・海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上、地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量:100万㎡以上、 ・流路工の計画高水流量:500㎡以上、砂防ダムの堤高:15m以上、ダムの堤高150m以上、転流トンネルの流下能力:400㎡/s以上、 ・橋梁下部工の高さ:30m以上、橋梁上部工の最大支間長:100m以上 (2. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		II 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 10. その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上該当があれば6点の加点とする。 (1つ以上で6点加点、たとえ7つが該当しても6点加点は変わらない)	(4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6. について) ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上交通で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通解放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10. について) ・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		III 厳しい自然・地盤条件への対応 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 14. 狭隘な泊地、航路内など航行船舶に配慮しなければならない工事 15. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 16. その他 理由: ※上記の対応事項に1つ以上該当があれば4点の加点とする。 (1つ以上で4点加点、たとえ5つが該当しても4点加点は変わらない)	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要性が生じた工事。 (12. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13. について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地すべり防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 (15. について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (16. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
		IV 長期工事における安全確保への対応 17. 12か月を超える工期で、事故無く完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※ 但し、文書注意に至らない事故は除く。 18. その他() ※上記の対応事項に1つ以上該当があれば6点の加点とする。 (1つ以上で6点加点、たとえ2つが該当しても6点加点は変わらない)	
	評価	評 点	

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
 ※2. 監督職員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
 ※3. 評価にあたっては、監督職員等の意見も参考に評価する。

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献度	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p> <p>☐ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p>☐ 定期的に応報紙の配布や現場見学会を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>☐ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p>☐ 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>☐ 災害時において、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p>☐ その他 理由:</p>						
<p>該当項目数 判定</p>						

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
		工程管理が優れている	工程管理が良好である	工程管理が適切である	工程管理がやや不適切である	工程管理が不適切である
2. 施工状況	II. 工程管理	「評価対象項目」 ☐ 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 ☐ 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 ☐ 近隣住民(入居公所等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 ☐ 配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 ☐ その他 理由:			理由を記しdまたはe評価とする。	
		評価項目が3以上・a 評価項目が2以上・b 評価項目が1以上・c	評価数 評価値 判定	理由:	理由:	
	III. 安全対策	a	b	c	d	e
		安全対策が優れている	安全対策が良好である	安全対策が適切である	安全対策がやや不適切である	安全対策が不適切である
		「評価対象項目」 ☐ 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 ☐ 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 ☐ 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 ☐ 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 ☐ 安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。 ☐ その他 理由:			理由を記しdまたはe評価とする。	
		評価項目が4以上・a 評価項目が2以上・b 評価項目が1以上・c	評価数 評価値 判定	理由:	理由:	

考 査 項 目	細 別	対 応 事 項
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■建物規模への対応</p>	<p>☐ 延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p>☐ 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物</p> <p>☐ 大空間のホール等を有する建物</p> <p>☐ その他 理由:</p>
		<p>詳細評価内容:</p>
	<p>評点=</p> <p>■建物固有の機能の難しさへの対応</p>	<p>☐ 対象建物の耐震レベル</p> <p>☐ 建物機能の特殊性</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
		<p>詳細評価内容:</p>
	<p>■建物固有の施工技術の難しさへの対応</p>	<p>☐ 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合【総合評価における技術提案は除く】</p> <p>☐ 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性</p> <p>☐ 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行なう工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
		<p>詳細評価内容:</p>
	<p>評点=</p>	

考 査 項 目	細 別	対 応 事 項
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■ 厳しい自然・地盤条件への対応</p>	<p>☐ 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</p> <p>☐ 軟弱地盤、支持地盤の影響</p> <p>☐ 雨・雪・風・気温等の影響</p> <p>☐ その他 理由: [評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評点=</p> <p>■ 厳しい周辺環境、社会条件との対応</p>	<p>☐ 地中埋設物等の作業障害</p> <p>☐ 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物</p> <p>☐ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p>☐ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p>☐ その他 理由: [評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事 <p>詳細評価内容:</p>
	<p>評点=</p>	

考 査 項 目	細 別	a	a'	b	b'	c
		地域への貢献が優れている	地域への貢献がやや優れている	地域への貢献が良好である	地域への貢献がやや良好である	他の評価に該当しない
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。</p> <p>☐ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。</p> <p>☐ 広報活動や現場見学会等を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>☐ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p>☐ 地域が主催するイベントなどへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>☐ 災害時において、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				
		評価項目が5個以上・a				
		評価項目が4個以上・a'				
		評価項目が3個以上・b	評価数			
		評価項目が2個以上・b'	評価値			
		評価項目が1個以下・c	判定			

考査項目		法令遵守等の該当項目一覧表	
7.法令遵守等	点数	措置内容	
☐	0	項目該当無し。	
☐	-20	1.指名停止3か月以上	
☐	-15	2.指名停止2か月以上3か月未満	
☐	-13	3.指名停止1か月以上2か月未満	
☐	-10	4.指名停止2週間以上1か月未満	
☐	-8	5.文書注意	
☐	-5	6.口頭注意	
☐	-3	7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問で処分した案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)	
☐		8.その他	
<p>点数</p> <p>① 本評価項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 口頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(監督職員からの文書注意、口頭注意等)は、監督職員又は立会人の評価対象項目である安全対策において減点をする。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 ・2.承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 ・3.労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。 ・4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ・5.当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 ・6.建設業法に違反する事実が判明した。例)一括下請負、技術者の専任違反等。 ・7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 ・8.使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・9.監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・10.下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ・11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ・12.受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 ・13.下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・14.受注企業及び下請け等がに暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報を怠った。 ・15.安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ・16.引渡し後に事故等が発生し、工事目的物が受注者の責による契約不適合で重大なものであることが判明した。 ・17.低入札価格調査で虚偽の報告があった。 ・18.受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。 ・19.受注者が工事請負契約書第7条の2の規定に反して違反して社会保険等未加入建設業者を下請負人としていることが判明した。 ・20.その他 理由: 			

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
2.施工状況	I.施工管理	優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
		<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 契約書第18条第1項第1号～5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <p>☐ 主要な工事材料に関して品質に影響が無いよう保管していることが確認できる。</p> <p>☐ 立会確認の手続きを事前に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p>☐ 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</p> <p>☐ 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。</p> <p>☐ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 海域、水域等において海洋汚染防止など法令遵守はもとより、環境に配慮した取り組みが伺える。</p> <p>☐ その他 理由:</p>			<p>施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行ったことが確認できる。</p> <p>☐</p>	<p>施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかったことが確認できる。</p> <p>☐</p>
		<p>評価数 評価値 判定</p>				

考査項目		a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	下記以外の工事 ☐	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。
	評価値 バラツキの判定 ☐ 規格値の概ね50%以内 ☐ 規格値の概ね80%以内 ☐ 上記以外 「評価対象項目」 ☐ 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる ☐ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ☐ 不可視部分の出来形が写真で確認できる ☐ 写真管理基準の管理項目を満足している。 ☐ 出来形管理基準が定められていない工程について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 その他 理由：		評価数 評価値 判定		評価値		評価値	
機械設備工事	☐	a	a'	b	b'	c	d	e
		優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
評価値 「評価対象項目」 ☐ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 ☐ 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 ☐ 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 ☐ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 ☐ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 ☐ 塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 ☐ 溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 ☐ 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 ☐ 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 ☐ 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録していることが確認できる。 その他 理由：		評価数 評価値 判定		評価値		評価値		

考查項目	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	道路改良工事	☐ 通りが良い。 ☐ 端部処理が良い。 ☐ 法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 ☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ☐ きめ細やかに施工されている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・ b 該当3項目・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
			評価数判定		
	舗装工事	☐ 舗装の平坦性が良い。 ☐ 構造物の通りが良い。 ☐ 端部処理が良い。 ☐ 構造物へのすりつけ等が良い。 ☐ 雨水処理が良い。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・ b 該当3項目・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
			評価数判定		
	標識工事	☐ 設置位置に配慮がある。 ☐ 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 ☐ 標識板の支柱に変色が無い。 ☐ 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目以下・・・ d	
			評価数判定		
	区画線工事	☐ 塗料の塗布が均一である。 ☐ 視認性が良い。 ☐ 接着状態が良い。 ☐ 施工前の清掃が入念に実施されている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目以下・・・ d	
			評価数判定		
土工事 (盛土工事等)	☐ 仕上げが良い。 ☐ 通りが良い。 ☐ 天端及び端部の仕上げが良い。 ☐ 構造物へのすりつけなどが良い。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目以下・・・ d		
		評価数判定			
切土工事	☐ 規定された勾配が確保されている。 ☐ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 ☐ 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 ☐ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 ☐ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 ☐ 全体的な美観が良い		該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・ b 該当3項目・・・ c 該当2項目以下・・・ d		
		評価数判定			
法面工事	☐ 通りが良い。 ☐ 植生、吹付等の状態が均一である。 ☐ 端部処理が良い。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当3項目以上・・・ a 該当2項目・・・ b 該当1項目・・・ c 該当項目なし・・・ d		
		評価数判定			

考查項目	工種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	基礎工工事(地盤改良等を含む)	☐ 土工関係の仕上げが良い。		該当3項目以上…	a
		☐ 通りが良い。		該当2項目…	b
	維持修繕工事	☐ 端部及び天端の仕上げが良い。		該当1項目…	c
		☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		該当項目なし…	d
		☐ ※地盤改良はc評価とする。	評価数判定		
		☐ 小構造物等にも注意が払われている。		該当3項目以上…	a
	側溝・水路整備工事(二次製品新設)	☐ きめ細かな施工がなされている。		該当2項目…	b
		☐ 既設構造物、周辺とのすりつけが良い。		該当1項目…	c
☐ 全体的な美観が良い			該当項目なし…	d	
評価数判定					
下水道工事(管路)	☐ 仕上がりが良い。		該当4項目以上…	a	
	☐ 通りが良い。		該当3項目…	b	
	☐ 既設構造物とのすりつけが良い。		該当2項目…	c	
	☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		該当1項目以下…	d	
下水道工事(管更生)	☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上…	a	
	☐ 通りが良い。		該当3項目…	b	
	☐ 埋戻し及び路面復旧の状態が良い。		該当2項目…	c	
	☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		該当1項目以下…	d	
水道施設工事	☐ 鉄蓋等の設置において、ガタツキや有害な傷がない。		該当4項目以上…	a	
	☐ 足掛金物等の付属物の設置位置・方向が適正である。		該当3項目…	b	
	評価数判定		該当2項目…	c	
	その他(理由:)		該当1項目以下…	d	
管水路工事(農林)	☐ 管渠施設内面の仕上げが良い。		該当6項目以上…	a	
	☐ 管渠施設の通りが良い。		該当4～5項目…	b	
	☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。		該当3項目…	c	
	☐ 既設構造物とのすり合わせが良い。		該当2項目以下…	d	
塗装工事(工場塗装を除く)・鋼橋上部工補修工事	☐ 仕上げが良い。		該当3項目以上…	a	
	☐ 通りが良い。		該当2項目…	b	
	☐ 付属構造物の肌が良い。		該当1項目…	c	
	☐ 継ぎ手部、連結部の仕上げが良い。		該当項目なし…	d	
塗装工事(工場塗装を除く)・鋼橋上部工補修工事	☐ 既設構造物とのすりつけが良い。		該当4項目以上…	a	
	☐ 埋戻し及び路面復旧の状態が良い。		該当3項目…	b	
	☐ 全体的な美観が良い。		該当2項目…	c	
	評価数判定		該当1項目以下…	d	
塗装工事(工場塗装を除く)・鋼橋上部工補修工事	☐ 管の通りが良い。		該当4項目以上…	a	
	☐ 管内面塗装に補修痕がない。		該当3項目…	b	
	☐ 小構造物もきめ細かく仕上げている。		該当2項目…	c	
	☐ 全体的な美観が良い。		該当1項目以下…	d	
塗装工事(工場塗装を除く)・鋼橋上部工補修工事	☐ 塗装の均一性が良い。		該当4項目以上…	a	
	☐ 細部まできめ細かな施工がされている。		該当3項目…	b	
	☐ 補修箇所が無い。		該当2項目…	c	
	☐ ケレンの施工状況が良好である。		該当1項目以下…	d	
塗装工事(工場塗装を除く)・鋼橋上部工補修工事	☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上…	a	
	評価数判定		該当3項目…	b	

考査項目	工 種	a	b	c	d
		優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	植栽工事	☐	樹木の活着状況が良い。 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 支柱の取り付けが堅固である。 全体的な美観が良い。	該当3項目以上・・・ a 該当2項目・・・・・・ b 該当1項目・・・・・・ c 該当項目なし・・・・ d	
		☐			
	公園緑地工事	☐	仕上げが良い。 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 全体的な美観が良い。 通りが良い。 天端・端部仕上げ及び目地仕上げが良い。 関係構造物との取り合いが適切に行われている。	該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・・・ b 該当3項目・・・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
		☐			
	機械設備工事 (建築・営繕は除く)	☐	主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 きめ細かな施工がなされている。 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 全体的な美観が良い。	該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・・・ b 該当3項目・・・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
		☐			
	電気設備工事 (建築・営繕は除く)	☐	きめ細やかな施工がなされている。 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 全体的な美観が良い。	該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・・・ b 該当3項目・・・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
☐		評価数 判定			
通信設備工事・受 変電設備工事	☐		主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 全体的な美観が良い	該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・・・・ b 該当3項目・・・・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
	☐	評価数 判定			
鋼橋工事	☐		表面に補修箇所が無い。 部材表面に傷及び錆が無い。 溶接に均一性がある。 塗装に均一性がある。 全体的な美観が良い。	該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・・・・ b 該当2項目・・・・・・ c 該当1項目以下・・・ d	
	☐	評価数 判定			

考查項目	工種	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.出来ばえ	コンクリート橋上部 工事・補修工事	☐ コンクリート構造物の表面状態が良い。 ☐ コンクリート構造物の通りが良い。 ☐ 天端及び端部の仕上げが良い ☐ 支承部の仕上げが良い。 ☐ クラックが無い。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・ b 該当3項目・・・ c 該当2項目以下・・・ d	
			評価数 判定		
	コンクリート構造物工 事・砂防構造物工 事・海岸工事・トンネ ル工事・橋梁下部 工補修工事	☐ コンクリート構造物の表面状態が良い。 ☐ コンクリート構造物の通りが良い。 ☐ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ☐ クラックが無い。 ☐ 漏水が無い。 ☐ きめ細かな施工がなされている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当6項目以上・・・ a 該当5項目・・・ b 該当4項目・・・ c 該当3項目以下・・・ d	
			評価数 判定		
	木製構造物工事 (農林)	☐ 地山・既設構造物とのすり付けが良い。 ☐ 構造物周辺の整地等が適正に施工されている。 ☐ 通りが良い。 ☐ 細部まできめ細やかな施工がなされている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目以下・・・ d	
			評価数 判定		
	地すべり防止工事 集水井戸工事	☐ 地山との取り合いが良い。 ☐ 天端、端部の仕上げが良い。 ☐ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当3項目以上・・・ a 該当2項目・・・ b 該当1項目・・・ c 該当項目なし・・・ d	
			評価数 判定		
草地造成整備工事 (農林)	☐ 表面に雑物等の混入がない。 ☐ 表土が均平に仕上がっている。 ☐ 小構造物もきめ細かく仕上げている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当3項目以上・・・ a 該当2項目・・・ b 該当1項目・・・ c 該当項目なし・・・ d		
		評価数 判定			
護岸・根固・水制工 事	☐ 通りが良い。 ☐ 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 ☐ 天端及び端部の仕上げが良い。 ☐ 既設構造物とのすりつけが良い。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目・・・ d		
		評価数 判定			
防護柵(網)・防雪 柵設置(新設)工事	☐ 通りが良い。 ☐ 端部処理が良い。 ☐ 部材表面に傷及び錆が無い。 ☐ 既設構造物等とのすりつけが良い。 ☐ きめ細やかに施工されている。 ☐ 全体的な美観が良い。		該当5項目以上・・・ a 該当4項目・・・ b 該当3項目・・・ c 該当2項目・・・ d		
		評価数 判定			

ほ場整備工事 (農林)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	表土に雑物等の混入が無い。 表土が均一に仕上がっている。 畦溝畔の仕上げが良い。 道路の路面・法面・敷砂利面の仕上げが良い。 構造物との取り付け、又は構造物の通りが良い。 コンクリート構造物の表面状態が良い。 全体的な美観が良い。	評価数 判定 該当6項目以上・・・ a 該当4～5項目・・・ b 該当3項目・・・ c 該当2項目以下・・・ d
隔障物工事 (農林)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	通りが良い。 有刺鉄線が緊張されている。 門扉の取り付けが良い。 小構造物もきめ細かく仕上げています。 全体的な美観が良い。	評価数 判定 該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目・・・ d
上記以外の工事又は 合併工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐	※ 該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。 理由： 理由： 理由： 理由： 理由：	評価数 判定 該当4項目以上・・・ a 該当3項目・・・ b 該当2項目・・・ c 該当1項目以下・・・ d

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	e
			施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	施工管理が適切である	施工管理がやや不適切である	施工管理が不適切である
2.施工状況	I.施工管理	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。</p> <p>☐ 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。</p> <p>☐ 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。</p> <p>☐ 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。</p> <p>☐ 工事の関係書類及び資料の整理がよい。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				<p>☐ 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行ったことが確認できる。</p>	<p>☐ 施工管理について、監督職員からの文書による改善指示に従わなかったことが確認できる。</p>
			<p>該当項目が90%以上.....a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満...b</p> <p>該当項目が60%以上80%未満...c</p> <p>該当項目が60%未満.....d</p>	<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>			

考 査 項 目	細 別	対 象	a	a'	b	b'	c	d	e
			出来形が特に優れている	出来形が優れている	出来形が特に良好である	出来形が良好である	出来形が適切である	出来形がやや不適切である	出来形が不適切である
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<p>「評価対象項目」</p> ☐ 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 ☐ 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 ☐ 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 ☐ 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 ☐ 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 ☐ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 ☐ その他 理由:						出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 ☐	出来形が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 ☐
			該当項目が ⁹⁰ %以上……………a 該当項目が ⁸⁰ %以上90%未満…a' 該当項目が ⁷⁰ %以上80%未満…b 該当項目が ⁶⁰ %以上70%未満…b' 該当項目が ⁵⁰ %以上60%未満…c 該当項目が ⁵⁰ %未満……………d	評価数 評価値 判定					

考 査 項 目	細 別	対 象	a	a'	b	b'	c	d	e
			特に優れている	優れている	特に良好である	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である
3. 出来形及び出来ばえ	II.品質 (設備)	<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> ☐ 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ☐ 機材の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ☐ 品質の確認結果が、分りやすく整理されていることが確認できる。 ☐ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 ☐ ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☐ ☐ システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 ☐ ☐ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ☐ ☐ 中間検査や出来形検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 ☐ ☐ 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 ☐ ☐ その他 理由: <p>該当項目が90%以上……………a 該当項目が80%以上90%未満…a' 該当項目が70%以上80%未満…b 該当項目が60%以上70%未満…b' 該当項目が50%以上60%未満…c' 該当項目が50%未満……………d</p>					<ul style="list-style-type: none"> ☐ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☐ 品質が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 	
									<p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>

考 査 項 目	細 別	対 象	a	a'	b	b'	c	d	e	
			特に優れている	優れている	特に良好である	良好である	適切である	やや不適切である	不適切である	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 (解体工事)	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 分別解体、建設廃棄物の処理・再資源化などに関して、工事着手前の調査・検討が十分に実施され、その内容が確認できる。</p> <p>☐ 解体工事等が設計図書、施工計画書のとおり実施され、その管理内容が、適切であることが確認できる。</p> <p>☐ 分別解体、建設廃棄物の処理・再資源化などが適正に行われていることが、資料で確認できる。</p> <p>☐ 有害物(PCB、アスベスト、フロンなど)の飛散・流出等を防止し、適正に処理されていることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>	<p>☐ 品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p>							<p>☐ 品質が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p>
			<p>該当項目が90%以上.....a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満...a'</p> <p>該当項目が70%以上80%未満...b</p> <p>該当項目が60%以上70%未満...b'</p> <p>該当項目が50%以上60%未満...c</p> <p>該当項目が50%未満.....d</p>	<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>						

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d
			全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適正である	全体的な完成度が劣っている
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ (建築工事)	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い</p> <p>☐ ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである</p> <p>☐ ☐ 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。</p> <p>☐ ☐ 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。</p> <p>☐ ☐ 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。</p> <p>☐ ☐ 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。</p> <p>☐ ☐ 杭の施工精度(芯ズレ・施工長さ等)が良好であることが施工記録で確認できる。</p> <p>☐ ☐ 鉄筋の配筋状態が良好であることが、工事写真により確認できる。</p> <p>☐ ☐ コンクリートの寸法精度(位置・断面寸法・平坦さ)が良好である。</p> <p>☐ ☐ コンクリートの打ち上がり状態はコールドジョイント・ジャンカが少なく良好である。</p> <p>☐ ☐ 鉄骨のボルトの締め付けが、仕様書の手順どおりに行われ、これが確認できる。</p> <p>☐ ☐ 鉄骨の建て入れ検査結果が良好である。</p> <p>☐ ☐ 木造軸組完了時の状況が良好である。</p> <p>☐ ☐ 適切な養生が行われ、汚れや傷が少ない。</p> <p>☐ ☐ 適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等が無い。</p> <p>☐ ☐ 保全に配慮した施工がなされている。</p> <p>☐ ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。</p> <p>☐ ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。</p> <p>☐ ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。</p> <p>☐ ☐ その他 理由:</p>	<p>☐ 出来ばえが劣っている。</p>			
			該当項目が90%以上.....a	評価数		
			該当項目が80%以上90%未満...b	評価値		
			該当項目が80%未満.....c	判定		

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d	
			全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適正である	全体的な完成度が劣っている	
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来栄え (設備工事)	<p>「評価対象項目」</p> ☐ きめ細かな施工がされている。 ☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。(減点)該当すればd評価とする。 ☐ 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 ☐ 環境負荷低減への対策が優れている。 ☐ 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 ☐ その他 理由:	<p>該当項目が90%以上.....a 評価数</p> <p>該当項目が80%以上90%未満.....b 評価値</p> <p>該当項目が80%未満.....c 判定</p>				☐ 出来ばえが劣っている。

考 査 項 目	細 別	対 象	a	b	c	d
			全体的な完成度が優れている	全体的な完成度が良好である	全体的な完成度が適正である	全体的な完成度が劣っている
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来栄え (解体工事)	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。</p> <p>☐ 埋め戻し材等の敷き均しの状態が良く、起伏やぬかるみがない。</p> <p>☐ 全体的な美観が良好である</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p>該当項目が3個.....a</p> <p>該当項目が2個.....b</p> <p>該当項目が1個以下....c</p>	<p>評価数</p> <p>評価値</p> <p>判定</p>	<p>☐ 出来ばえが劣っている。</p>		

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形 及び 出来ばえ	道路改良工 事	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 【共通】</p> <p>材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>その他 理由:</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
II.品質		<p>☐ 【土工関係】</p> <p>雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</p> <p>置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</p> <p>芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。</p> <p>法面に亀裂が無い。</p> <p>伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【路床、路盤】</p> <p>設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。</p> <p>路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。</p> <p>路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</p> <p>路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p>路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め</p> <p>その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【排水工】</p> <p>使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</p> <p>側溝の仕上がり面と排水面が整合がとれ、良好な排水が確認できる。</p> <p>既設構造物との取り合いや曲線部の施工が適切に行われている。</p> <p>その他 理由: 評価数 評価値</p>					<p>評価数 評価値 判定</p>	

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>舗装工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 【路床・路盤工関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックしてください。)</p> <p>☐ 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。</p> <p>☐ 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値</p> <p>☐ 【アスファルト舗装工関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックしてください。)</p> <p>☐ アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。</p> <p>☐ 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。</p> <p>☐ プラント出荷時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。</p> <p>☐ 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。</p> <p>☐ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。</p> <p>☐ 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値</p> <p>☐ 【コンクリート舗装工関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制)が確認できる。</p> <p>☐ 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度(寒中、暑中コンクリートの場合)、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>☐ コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>☐ 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。</p> <p>☐ チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたこと</p> <p style="text-align: center;">評価値</p> <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>植栽工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。</p> <p>☐ 樹木・芝生管理で使用する肥料・薬剤・土壌改良材の種類及び使用量が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 活着が促されるよう管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。</p> <p>☐ 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。</p> <p>☐ 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。</p> <p>☐ 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。</p> <p>☐ 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値 判定</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>
	<p>標識・防護柵(網)・防雪柵(新設)設置工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等が確認できる。</p> <p>☐ 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 基礎コンクリート周辺の締め固め等の処理が適正に行われている。</p> <p>☐ 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。</p> <p>☐ ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値 判定</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>Ⅱ.品質</p>	<p>区画線工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 道路標識、区画線及び道路標示に関する命令等の諸規定に従い適切に施工し、規格を満足している。</p> <p>☐ ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。</p> <p>☐ 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、良好であることが確認できる。</p> <p>☐ 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。</p> <p>☐ プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>土工事(切土、盛土、堤防等工事)</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 法面に有害な亀裂が無い。</p> <p>☐ 伐除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II.品質	法面工事	<p>「評価対象項目」 【共 通】 ☐ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) ☐ 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 ☐ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 ☐ 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 ☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。 ☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。 ☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。 その他 理由: 評価数 評価値</p>					☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 評価値	☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 評価値
		<p>☐ 【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。) ☐ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。 ☐ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 ☐ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 ☐ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 ☐ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 その他 理由: 評価数 評価値</p>						
		<p>☐ 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。) ☐ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 ☐ 金網が破損を生じていないことが確認できる。 ☐ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 ☐ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 ☐ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 ☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 ☐ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 ☐ 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 その他 理由: 評価数 評価値</p>						
		<p>☐ 【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。) ☐ アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 ☐ 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。 ☐ 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☐ 枠内に空隙が無いことが確認できる。 ☐ 層間にはく離が無いことが確認できる。 ☐ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 ☐ 法枠の設置に当たり、枠をかみ合わせ、滑動しないよう積み上げていることが確認できる。 ☐ 枠内の土のうが、枠の下から脱落しないよう固定されている事が確認できる。 その他 理由: 評価数 評価値</p>					評価数 評価値 判定	

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>基礎工事及び地盤改良工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>☐ 使用材料の品質が証明書で確認できる。</p> <p>☐ 使用機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				<p style="text-align: right;">評価数 評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>
		<p>☐ 【地盤改良関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>☐ 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				<p style="text-align: right;">評価数</p>		
		<p>☐ 【杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。</p> <p>☐ 既製杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <p>☐ 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。</p> <p>☐ 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</p> <p>☐ 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <p>☐ 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				<p style="text-align: right;">評価数</p>	<p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>	
		<p>※杭関係と地盤改良工事は同時に選択することはできません。</p>						

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>維持修繕工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>☐ 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>☐ 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>☐ 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準により理由:</p> <p>☐ その他</p>				<p style="text-align: right;">評価数 評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p> <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>
		<p>☐ 【道路維持修繕工事】(主たる工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ 材料(二次製品)の規格、品質が適正であり、証明書等が整備されている。</p> <p>☐ 構造物の撤去については必要最低限で行い、且つ隣接部に損傷を与えないように行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 基礎、支柱が沈下しないよう、設置孔の基礎部が十分締め固められ、堅固に建て込まれている。</p> <p>☐ 床掘・掘削の仕上がり面において、地山を乱さないように、且つ不陸が生じないように施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 床掘箇所湧水及び滞水などは、ポンプあるいは排水溝を設けるなどして排除していることが確認できる。</p> <p>☐ 構造物、道路付属物周辺の除草、伐採が実施されており、均一に刈り込まれている。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				<p style="text-align: right;">評価数 評価値</p>		
		<p>☐ 【河床整理工事】(主たる工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ 土砂等の流出、既存施設への影響が生じないよう適切に施工している。</p> <p>☐ 灌木等の伐採漏れがなく、対象範囲を確実に整理している。</p> <p>☐ 伐木・抜根等の処理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 残土の処理が適正に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 浮き石を活かす等、河川環境に配慮している。</p> <p>☐ その他 理由:</p>				<p style="text-align: right;">評価数 評価値</p>		

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>側溝水路整備工事</p> <p>(二次製品新設)</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。</p> <p>☐ 使用材料に損傷無く設置していることが確認できる。</p> <p>☐ 隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたこと</p> <p>評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II.品質	下水道工事 (管路)	「評価対象項目」 ☐ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 ☐ 材料の品質規格証明書等が整備されている。 ☐ 管渠(管布設・矩形渠布設、推進、シールド)工において出来形管理基準を満足しており、目立った屈曲や沈下がない。 ☐ 管渠において漏水箇所がない。 ☐ 管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がない。 ☐ 管渠継ぎ手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である。 ☐ 推進管の裏込め材料が十分充填されている。 ☐ マンホールにおいて、出来形管理基準を満足し、連結部には止水シール、止水ゴムが適切に使用されている。 ☐ マンホールにおいて、各部材にはクラック等がなく、漏水がない。 ☐ インバートは形状、勾配等が適正で、漏水がない。 ☐ インバートはその表面仕上げが適正である。 ☐ 樹の天端は周辺地盤になじんでおり、土地境界石、その他周辺の復旧仕上がりがよい。 ☐ 樹の取り付け管は、理由のない屈曲や、目立った沈下がない。 ☐ 施設内に土砂、モルタル、材料の破片等がなく、清掃されている。 ☐ 掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られない。 ☐ 埋戻において、締固めが適正な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 ☐ 舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていない等、仕上がり状態がよい。 ☐ 縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適正に行われている。 ☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。 ☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。 ☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。 その他 理由：					☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 評価値	☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 評価値
							評価数 評価値 判定	
	下水道工事 (管更生)	「評価対象項目」 ☐ 既設管内の布設状況、障害物及び漏水等の事前調査を十分に行って施工している。 ☐ 事前処理により、施工時に支障のないよう適切な措置を施している。 ☐ 硬化性樹脂材を使用する場合、硬化時の時間及び温度管理が適切に行われている。又、製管材を使用する場合、裏込め材の注入量の記録管理が適切に行われている。 ☐ 仕上り管体内面に膨れ、シワ、破損等がなく基準を満足している。 ☐ 施工後の施設内に漏水がなく、また土砂、汚物の堆積等がない。 ☐ 使用材料の品質が写真及び品質規格証明書等で確認できる。 その他 理由：					☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 評価値	☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 評価値
						評価数 評価値 判定		

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>水道施設工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>☐ 材料の品質規格証明書等が整備されている。</p> <p>☐ 埋設管路に対する防食被覆が適切に行われているのが確認できる。</p> <p>☐ 仕切り弁、消火栓の設置は設計図に基づき、仕様書通り施工された。</p> <p>☐ 管周囲、埋戻しは適正な材料が用いられ、仕様書通り施工された。</p> <p>☐ 水圧試験は、所定水圧が問題なく確保され、管路の水密性が確認された。</p> <p>☐ 弁室等構築は、ひび割れ、継ぎ手部の段差、漏水もない。</p> <p>☐ 給水管継ぎ替に伴う復旧は、設計図に基づき仕様書等通り施工され、周辺とのすり付けも良い。</p> <p>☐ 舗装復旧において、施工が仕様書の規定に従っており、既設舗装との段差がなく、また舗装切断跡が残っていない等、仕上がりが状態がよい。</p> <p>☐ 弁室の足掛け金物の配置が適切であり、鉄蓋も正確に据えつけられ、オサマリが良い。</p> <p>☐ 施設内に土砂、モルタル、材料の破片等がなく、清掃されている。</p> <p>☐ 掘削時の土留めによる周辺地盤への影響が見られない。</p> <p>☐ 埋戻しにおいて、締固めが適正な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。</p> <p>☐ 縁石、柵、標識等の道路付属物の復旧が適正に行われている。</p> <p>☐ 継ぎ手接合がチェックシート及び状況写真により適正に管理されているか。</p> <p>☐ 仕切り弁が垂直に設置されているか。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>管水路工事(農林)</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>☐ 材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p>☐ 施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p>☐ 締め固めが仕様書等で示す条件により実施されている。</p> <p>☐ 管の両端が均等に埋め戻されていることが確認できる。</p> <p>☐ 地盤面に不陸が生じていないことが確認できる。</p> <p>☐ 管の吊り込み据付の際に、安全に配慮した施工がうかがえる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>その他 理由:</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
		a	a'	b	b'	c	d	e
		<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 使用する肥料・薬剤・土壌改良材・種子の種類及び使用量が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 耕起、砕土の施工回数が確認できる。</p> <p>☐ 基盤整地は良好な状態で施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 表土が均一に施工されていることが確認できる。</p> <p>☐ 堆肥散布の場合、成分分析をしていることが確認できる。</p> <p>☐ 暗渠排水工の被覆材の均一な布設状況が確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>その他 理由:</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>

評価数
評価値
判定

評価数
評価値
判定

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形 及び 出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>塗装工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>ケレンを入念に実施していることが確認できる。</p> <p>天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。</p> <p>塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。</p> <p>鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。</p> <p>塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。</p> <p>溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</p> <p>塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>その他 理由:</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>トンネル工事</p>	<p>「評価対象事項」</p> <p>☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度(寒中及び暑中コンクリートの場合)、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設方法及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。</p> <p>☐ ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上で施工していないことが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>公園緑地工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>☐ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【舗装工・表層工】</p> <p>☐ 路盤工(凍上抑制層含む)の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。</p> <p>☐ 混合物の品質(混合、温度、密度等)が適切に管理されていることが確認できる。</p> <p>☐ 平板、舗石、レンガ、タイル舗装等の目地が、仕様書等に定められたとおり処理されていることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p>☐ 【植栽・緑化工】</p> <p>☐ 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施施工に反映している。</p> <p>☐ 活着が促されるよう管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p>☐ 【付属物・設備工】</p> <p>☐ 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</p> <p>☐ 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 不可視部分の出来形が写真で確認できる</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値 判定</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>

3.出来形及び出来ばえ	II.品質	I.機械設備工事	a	a'	b	b'	c	d	e	
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。	
		建築・営繕を除く	「評価対象項目」 材料、部品の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。 完成図書(取扱説明書)に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。 機器の配置が点検しやすいように工夫していることが確認できる。 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 その他 理由:					評価値	評価値	
		電気設備工事	a	a'	b	b'	c	d	e	
		建築・営繕を除く	「評価対象項目」 制作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討が実施していることが確認できる。 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。 ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合がないことが確認できる。 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 現場条件によって機器(製品)の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成(修繕(改造・更新含む)の場合は、修正又は更新)していることが確認できる。 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 その他 理由:					評価値	評価値	
								評価値 評価値 判定		

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>鋼橋工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐【工場製作関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ 鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>☐ 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>☐ 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>☐ 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>☐ 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐【架設関係】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>☐ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>☐ 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>☐ 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。</p> <p>☐ 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。</p> <p>☐ 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認していることが確認できる。</p> <p>☐ 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p style="text-align:right">判定</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたこと</p> <p style="text-align:center">評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align:center">評価値</p>

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>Ⅱ.品質</p>	<p>コンクリート橋上部工事</p> <p>(PC及びRCを対象)</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度(寒中及び暑中コンクリートの場合)、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>☐ コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>☐ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ スペースの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ プレベーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。</p> <p>☐ プレストレス時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 有害なクラックがない。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>コンクリート 構造物工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度(寒中、暑中コンクリートの場合)、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>☐ 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>☐ コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>☐ コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる</p> <p>☐ 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 有害なクラックがない。</p> <p>☐ その他</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>
<p>評価数 評価値 判定</p>								

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>砂防構造物工事及び地すべり防止工事</p> <p>(集水井戸工事を含む)</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>☐ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p>☐ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度(寒中、暑中コンクリートの場合)、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p>☐ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>☐ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)</p> <p>☐ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。</p> <p>☐ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>☐ 有害なクラックがない。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【砂防構造物工事に適用】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>☐ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>☐ ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事含む)】(該当する工種のチェックボックスをチェックして下さい。)</p> <p>☐ アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ ライナープレート(組立)の組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。</p> <p>☐ ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価数 評価値</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p> <p style="text-align: center;">評価数 評価値 判定</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II.品質	隔障物工事(農林)	<p>「評価対象項目」</p> ☐ 使用資材は、仕様書に規定する資材であることが確認できる。 ☐ 打ち込み及び埋設している主力柱資材は、ぐらつきのないことが確認できる。 ☐ コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。 ☐ 塗装の剥離、錆がないことが確認できる。 ☐ 鉄線・鋼線牧柵の場合、たるみがなく緊張が確認できる。 ☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。 ☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。 ☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。 ☐ その他 理由: _____					品質関係の測定方法又は ☒ 測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 評価値	品質関係の測定方法又は ☒ 測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 評価値
	木製構造物工事(農林)	<p>「評価対象項目」</p> ☐ 構造物の中詰め等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがない。 ☐ 材料の規格に極端なばらつきがない。 ☐ 材料に損傷や補修跡がない。 ☐ 構造物の締め付け固定が確実に実施され、適正に施工されている。 ☐ 施工基面が図面通り実施されていることが確認できる。 ☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。 ☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。 ☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。 ☐ その他 理由: _____					品質関係の測定方法又は ☐ 測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。 評価値	品質関係の測定方法又は ☐ 測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。 評価値

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>護岸・根固・水制工事</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>☐ 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。</p> <p>☐ 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。</p> <p>☐ 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。</p> <p>☐ 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。</p> <p>☐ 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>☐ 有害なクラックがない。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督職員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由:</p> <p style="text-align: right;">評価数 評価値 判定</p>					<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>☐ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>

調査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事(農林)	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>☐ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>☐ 材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p>☐ 材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ 品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>☐ 品質管理基準によりがたい場合、監督員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【区画整理工事】</p> <p>☐ 旧水路等の埋立て及び雑物除去が確認できる。</p> <p>☐ 表土が均一に施工されていることが確認できる。</p> <p>☐ 基盤整地は、良好な状態で施工している。</p> <p>☐ 畦溝畔及び道路盛土等の締め固め作業が確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【水路工事】</p> <p>☐ 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。</p> <p>☐ 埋め戻しは仕様書等で示す条件により施工されている。</p> <p>☐ 二次製品の吊り込み及び据え付けの際に常に安全に配慮して施工している。</p> <p>☐ 二次製品の規格・寸法が検測されている。</p> <p>☐ 二次製品等の仮置き、保管が良好に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ 目地が良好に仕上げられている。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【客土・耕土搬入工事】</p> <p>☐ 客土又は耕土搬入の材料は、事前に見本検査等で確認を受けている。</p> <p>☐ 客土又は耕土搬入の材質を現地で確認している。</p> <p>☐ 客土(耕土)を田面全体に小運搬し、均一に施工している。</p> <p>☐ 田面が乾燥して良好な状態で施工している。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【暗渠排水工事】</p> <p>☐ 排水管の埋設は、所定の深さ及び勾配で埋設しているのが確認できる。</p> <p>☐ 暗渠排水工の被覆材は、所定の深さまで均一に埋設していることが確認できる。</p> <p>☐ 排水管理設後の表土は、均平に仕上げていることが確認できる。</p> <p>☐ 掘削残土は支障雑物を除去して、田面に均等に敷き均していることが確認できる。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>☐ 【敷砂利工事】</p> <p>☐ 路面が良好な状態で施工していることが確認できる。</p> <p>☐ 路面が良好に不陸整正されていることが確認できる。</p> <p>☐ 使用材料の粒度区分を現地で確認できる。</p> <p>☐ 材料の敷き均しは、粒度の分離もなく均一に施工している。</p> <p>☐ その他 理由: 評価数 評価値</p> <p>評価数 評価値 判定</p>					<p>品質関係の測定方法又は</p> <p>☐ 測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は</p> <p>☐ 測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。</p> <p>評価値</p>

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	e
<p>3. 出来形及び出来ばえ</p> <p>II.品質</p>	<p>橋梁補修(耐震補強、落橋防止等も含む)</p>	<p>「評価対象項目」</p> <p>【基本項目】</p> <p>☐ 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認が適宜・適確に行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 構造物の劣化状況をよく把握し、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p>☐ 監督職員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について、提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p>☐ 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p>【追加項目】</p> <p>☐ 設計書に基づくモルタルが適切な規格(W/C、強度)であることが確認できる。</p> <p>☐ モルタル打設時の必要な供試体を採取し強度が確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋、鋼材の規格がミルシートで確認できる。</p> <p>☐ 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。</p> <p>☐ 使用材料の品質確認を現場で実施し、その記録が整理されていることが確認できる。</p> <p>☐ ボルトの締付け確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。</p> <p>☐ ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。</p> <p>☐ アンカー引き抜き試験を実施し、必要強度の確認を行っていることが確認できる。</p> <p>☐ 削孔箇所の清掃を実施されていることが確認できる。</p> <p>☐ 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>☐ 既設鉄筋や既設部材の保全による構造全体の品質確保への配慮がされていることが確認できる。</p> <p>☐ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p>☐ 炭素繊維・鋼材・鉄筋の規格がミルシートで確認でき、引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p>☐ 電位差測定等により電気防食効果が明確に確認できる。</p> <p>☐ ケレンが入念に実施されていることが確認でき塗装厚管理が適切に行われていることが確認できる。</p> <p>☐ その他(理由:)</p> <p style="text-align: center;">基本項目 追加項目 合計 判定</p>					<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">評価値</p>

検査項目	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II.品質	いずれにも該当しない工事又は合併工事	<p>「評価対象項目」</p> <p>【共通】</p> <p>仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>材料の品質規定証明書が整備されている。</p> <p>材料搬入時の品質管理を適時及び的確に行っていることが書面で確認できる。</p> <p>品質管理測定値が規格を満足し、ほぼ均一で良好な品質であることが確認できる。</p> <p>品質管理基準によりがたい場合、監督員と協議の上で品質管理を行っていることが書面で確認できる。</p> <p>その他 理由:</p>				評価数 評価値	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善されたことが確認できる。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、修補が必要とされたことが確認できる。
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値		
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値		
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値		
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値		
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値		
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値		
		☐ 【〇〇工事】 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 理由:				評価数 評価値 判定		